

岡山県文化特別顕彰被顕彰者資料

氏名	小川 洋子（おがわ ようこ）	
生年月日	昭和 37 年 3 月 30 日（61 歳）	
出身地	岡山市中区	
現住所	兵庫県西宮市	
現職	小説家	
功績概要	<p>小川氏は、昭和 63 年に「揚羽蝶が壊れる時」で海燕新人文学賞を受賞し、以後、「妊娠カレンダー」で芥川賞、「博士の愛した数式」で読売文学賞等を受賞するなど、次々と優れた作品を発表し、平成 25 年に「ことり」で芸術選奨文部科学大臣賞、令和 3 年には独自の作品世界を構築し海外でも評価されたことが認められ、菊池寛賞を受賞するなど活躍している。</p> <p>また、令和 5 年、卓越した芸術作品又は芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められた者に贈られる日本芸術院賞を受賞。精力的にユニークな小説世界を生み出し、それを発展させてきた文学的業績が評価されたものである。</p> <p>一方、自らの創作活動の傍ら、太宰治賞や芥川賞などの選考委員を務め、内田百閒文学賞審査員については、平成 4 年の第 2 回から連続して令和 4 年の第 15 回に至るまで務めており、本県の文芸活動の普及振興及び後進の育成に果たしている貢献は誠に大である。</p>	
受賞歴等	昭和 63 年 平成 3 年 平成 3 年 平成 16 年 平成 18 年 平成 25 年 令和 2 年 令和 3 年 令和 5 年	第 7 回海燕新人文学賞 第 104 回芥川賞 第 33 回岡山県文化奨励賞 第 55 回読売文学賞、第 1 回「2004 年本屋大賞」、 第 32 回泉鏡花文学賞、岡山県文化特別顕賞 第 42 回谷崎潤一郎賞 第 63 回芸術選奨文部科学大臣賞 第 73 回野間文芸賞 紫綬褒章、第 69 回菊池寛賞 第 79 回日本芸術院賞
主な略歴	<p>昭和 59 年早稲田大学第一文学部卒業。</p> <p>平成 5 年から内田百閒文学賞審査員。平成 15 年から太宰治賞選考委員（同 27 年まで）。平成 19 年から芥川賞選考委員。平成 22 年から読売文学賞選考委員（同 30 年まで）。平成 25 年から河合隼雄物語賞選考委員。</p>	